

東部地区道德教育研究協議会

(H・28・11・17)



特別の教科 道德の

実施に向けた道德教育推進
教師の役割と体制の確立

山西 実

1 心と体の調和の取れた人間の育成に社会全体で取り組む。道徳を新たな枠組みによって教科化し、人間性に深く迫る教育を行う。(教育再生会議第一次提言。H. 25. 2. 26)

- 道徳を新たな枠組みによって教科化し、指導内容を充実。
- 効果的な指導方法を明確化し、全ての教員が習得できるよう普及。道徳の教材として具体的な人物や地域、我が国の伝統と文化に根ざす題材等を重視。
- 家庭や地域で大人が率先垂範して一人の人間としての在るべき姿を示し、しつけるべきことをしつける。



この背景には、今までの道徳教育は、
どんなことが指摘されていたのかな。

- 道徳教育そのものに忌避しがちな風潮
- 他教科に比べて軽んじられている
- 理念の理解が不十分で、効果的な指導方法が共有されていない
- 地域間、学校間、教師間の取組にばらつきが多い
- 登場人物の心情理解などの型にはまったものになりがち
- 学年が進むにつれて子どもの受けとめがよくない

道徳教育の在り方に関する懇談会 (H/25・12・26)





つまり、二つの課題があったわけだね。

一つは、年間35時間単位時間が確実に確保されるという**量的な確保**

二つ目は、子ども達が道徳的価値を理解し、これまで以上に深く考えてその自覚を深めるという**質的な転換**ね。



道徳に係る一部改正等に関するスケジュール

- H・27・3・27 学校教育法の施行規則の一部改正
4・1 移行措置を実施可能
- H・27・7・3 「解説」の作成・公表
- H・28・8 道徳の評価の在り方に関する専門家会議の審議等を踏まえ、評価の通知
- H30～ 小学校 H31～中学校 での試行
様々な施策が加速化 急ピッチ



特別な教科道徳になると、何がどう変わるかという戸惑いも多いね。

学習指導要領の道徳解説編を
しっかり読み込むことが大切ね。
用語がやさしくなっていたり、
分かりやすく構成されているわ。
埼玉県教育課程編成要領も参考
にしないではいけないわ。まず、
全職員で確認し、共通理解を図
る研修を行うことも必要ね。



改正された道徳の特徴①

学習指導要領 第1章総則（2）では
学校における道徳教育は、特別の教科である道徳
（以下「道徳科」という）を要として学校の教育
活動全体を通じて行うものであり、

学習指導要領 第1章総則 内容等の取り扱い

**6 道徳科を要として学校の教育活動全体
を通じて行う道徳教育の内容は、第3章特別
の教科道徳の第2に示す内容とする。**

教育活動全体を強調・
総則に格上げ

改正された道徳の特徴②

ねらいや

特質を より わかりやすく 具体化
内容を 再構成

多様な指導法の開発

協力的な指導体制 主体的に取り組むこと
人間の弱さを認めながら 師弟同行
話し合ったりする言語活動
多面的・多角的な振り返り
問題解決的な学習 体験的な学習
現代的な課題

道徳の内容は 学校の教育活動全体

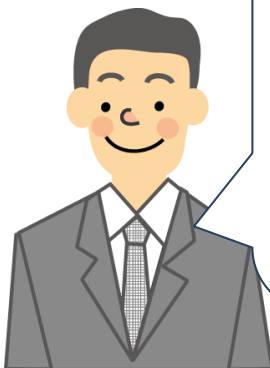
「第2 内容

学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要である道徳科においては、以下に示す項目について扱う。」

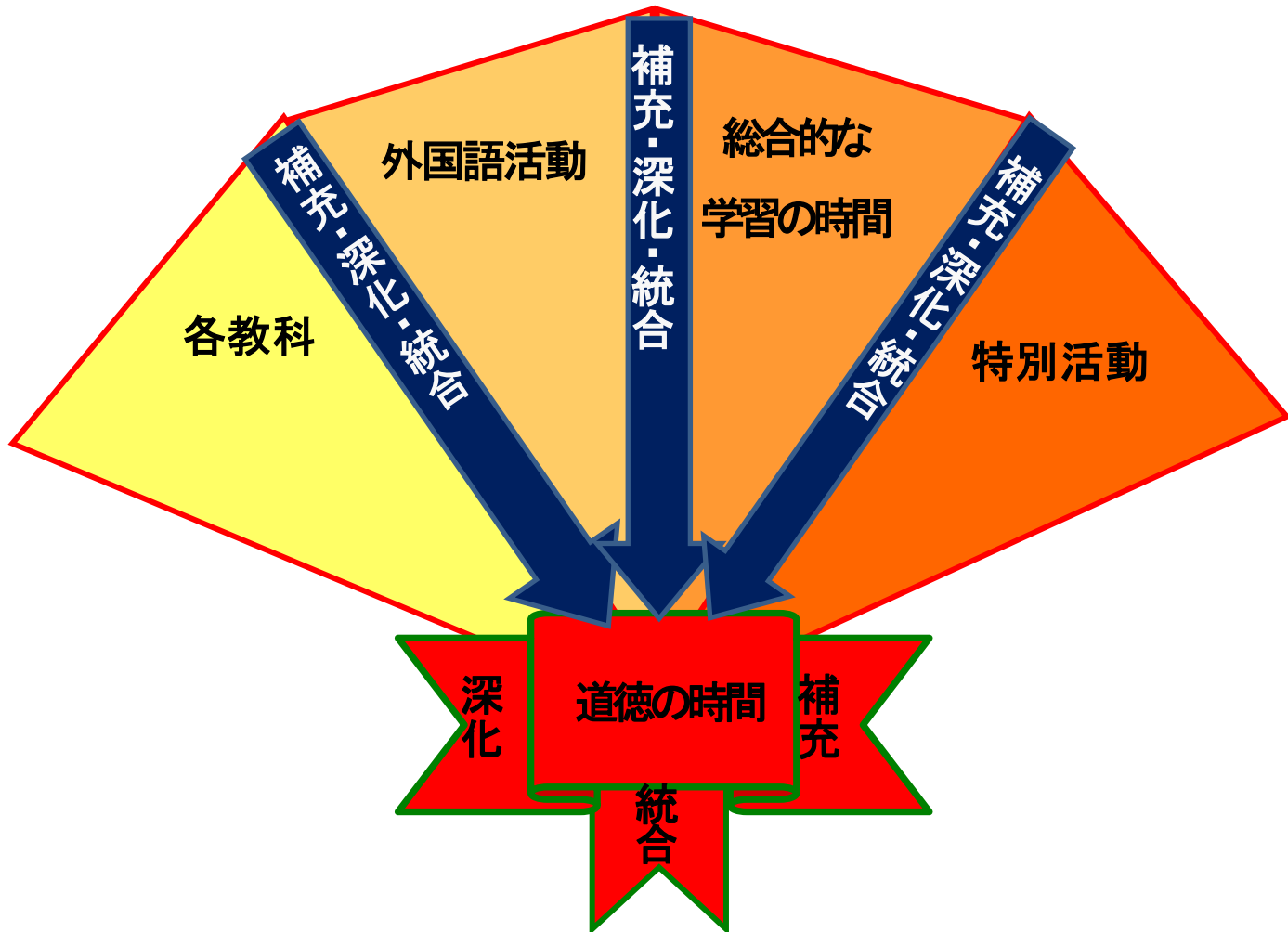
各教科においても、道徳教育が明示(学習指導要領参照)

要となる道徳の時間

「道徳の時間は主人公の気持ちになって感じるだけではなく、ねらいに照らして、自分自身の過去の体験や今の思い、そして将来への課題などを見つめる時間である。子ども一人一人が自分の生き方の中の課題について深く考えたりする時間なのである。」



道徳は、学校教育全体で行う道徳教育と要となる道徳の時間で構成されているのです。補充、深化、統合という言葉は、消えましたが、性格は変わっていません



「第3章特別の教科道徳」「第1 目標」)

第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己（人間として）の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

(補充・深化・統合、道徳的実践力等)

「補充・深化・統合」は？

道徳科が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、計画的・発展的な指導を行うこと。特に、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育としては取り扱う機会が十分でない内容項目に関わる指導を補うことや、児童や学校の実態等を踏まえて指導をより一層深めること、内容項目の相互の関連を捉え直したり発展させたりすることに留意すること。（配慮事項）

教科等・道徳の時間で指導すべき内容

改善・統合・分化

還流

視点A

自己と自己とのかかわりを深める

視点B

人と自己とのかかわりを深める

視点C

集団や社会と自己とのかかわりを深める

視点D

生命や自然、崇高なものと自己とのかかわりを深める

質の高い多様な指導方法

1 登場人物への自我関与が中心の学習

自分を投影して判断や心情を考える 効果的な指導方法

2 問題解決的な学習

根拠を問う発問 自分に当てはめて 意味を問う

3 道徳的行為に関する体験的な学習

役割演技 実際の問題場面

◎独立した型を示したわけではない。それぞれの要素を組み合わせた指導を行うことも考えられる。
主題やねらいに応じた適切な指導方法の工夫・改良

こっちにきてよかった
ごちそうもある
たのしい

やまがらくんは
せかくのたん生日なのに
さびしくすごして
いるのだろうな。

あいての気もちを
うんがえることが大せつ
わの小とり

とくべつな日
きょうしかない
つまらない
さびしいかな

おいわいに
きましたよ。

よくきて
くれましたね。

たん生日

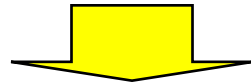
山おく

おいわいを
するから
きて
ください

どうしてみそさざいさんは、自分だけうぐいすさんのうちからぬけだして、やまがらさんのうちにいけたの
だろう。何が違うのだろうか？

一体的に取り組む道徳教育

1 校長の方針の明確化



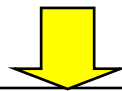
道徳教育推進教師の命課と役割



全教職員の参画と推進

道徳教育推進教師は

校長の方針のもとに



ナビゲータとして



プロモーター
(推進者)



コーディネーター
(調整役)



アドバイザー
(支援・助言者)

各学校の工夫例

道徳教育推進教師の目から

①校長の方針の明確化 年度当初、校長から全職員に道徳教育の方針を伝えた

道徳教育推進のため、分掌組織を見直した

校長から推進教師の役割について全職員に伝え、
取り組みの内容を話した

校長と推進教師で今後の方向性や具体的な取り組みに
ついて確認し合えた



職員会議で各学年の道徳教育の取り組み状況を報告し
合う場を設けたり、推進教師から話す場を設けたりしてくれた

その他(道徳部会の定期開催、PTAでの説明の場等)

推進教師を中心とした 体制づくり例

道徳教育推進教師の目から

- ①道徳教育推進教師を学年に一人設けるなど複数体制にした
- ②各研究部や分掌組織に道徳教育担当を置いた
- ③道徳教育推進教師を教務部会に位置付けてくれた
- ④道徳教育の多様な研修を位置付けた
- ⑤定期的に管理職との打ち合わせ会を開催し、指導を受けられた
- ⑥学年会の最初に各担任から道徳教育の推進状況や今後の取り組みを報告し合う
- ⑦その他

計画等の作成・改善では

保護者や教職員にアンケートをとり、重点目標を設定

各学年に分かれ発達段階における重点目標を見直した

職員会議で活用しやすい形式や体裁について意見交換

エクセル・チェック欄にマーカー等で実働

新たな内容項目や課題となる項目の見直し



別葉の必要性

- 各教科等における道徳教育にかかわる指導の内容及び時期を整理したもの
- 道徳教育にかかわる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの
- 道徳教育の推進体制や家庭や地域等との連携のための活動等が分かるもの
- これらを別葉にして加えるなどして、年間を通して具体的に活用しやすいものとするのが考えられる。

道徳の授業改善では

教職員用
道徳だより

〇〇中
スタイル
を作成

模擬授業
やTTによ
る授業

夏期休業中
にお勧めの資料、
活用の仕方の
研修



外部講師
を招へい
しての研
修

管理職の
授業参加
を依頼

学年会で
翌月の指
導案を提
示

同じ資料を
同じ教員が
各学級で

教育活動全体の取組では

複数あった
月別目標を
一本化した

教室や廊下
等に道徳
コーナーを
設定した

教科におけ
る道徳の視
点を報告し
合う

学校行事が
「活動ありき」
にならないよう
見届けをした

学期末に定
期的な教師
アンケート

先生方の悩み
を共に共有す
る姿勢

「私たち
の道徳」
の活用



その他推進方策は

職員室に整理棚や関連図書を設置

PCに道徳共有フォルダー

学校公開日に全学級道徳授業公開

「私たちの道徳」をスキャナーで取り込み掲示用に



地域教材を取り上げ、地域の人に授業参加

PTA・地域への道徳だより

心に残る言葉でカレンダー作成

PTAと一緒に挨拶日本一運動

「わたしたちの道徳」の特徴

メッセージ性と記録性と教材性



① 自らの生き方のインデックス—自学
自習用の冊子

② 心の記録・軌跡となる冊

③ 資料・教材の挿入

④ 学校と家庭との
「心の架け橋」的な冊子

「私たちの道徳」のその他の活用場面

「いつでも・どこでも・何度でも」

- ①朝読書や「心の日」等の活用
- ②校長講話や学年集会で活用
- ③学校行事に持参して活用
- ④拡大コピーにして掲示用に使用
等





Thank you very much!!

ご清聴に感謝いたします。
益々のご活躍をご祈念申し上げます。